

一般社団法人山口県医師会平成30年度第25回理事会

3月20日（水） 午後7時～9時

河村会長、林副会長、加藤専務理事、萬・藤本・沖中・中村・清水・前川各常任理事、伊藤・吉水・郷良・河村・長谷川各理事、藤野・篠原・岡田各監事

議決事項

1 重要な使用人の選任について

平成31年3月31日付けで市原栄一 事務局長が退職することから、平成31年4月1日付けで採用する佐伯彰二を事務局長に選任することが決定した。

協議事項

1 平成30年度事業報告（案）について

事業別による事業報告について協議を行った。

2 日医かかりつけ医機能研修制度の認定について

標記制度の研修修了者12名より申請があり、認定証を発行することが決定した。

3 山口県の風しん検査事業について

標記については、平成26年度から2年間、国の補助事業（国1/2、県1/2）として、医療機関及び保健所で実施し、平成28年度からは、風しんの発生件数・受診者数の減少などから保健所のみでの実施に切り替えた。今般の風しん患者増加など流行状況を踏まえ、県は再び医療機関及び保健所で検査を実施していくこととした（補助 国1/2、県1/2）。実施期間は、2019年4月1日～2020年3月31日。

4 「岩国空港における医療救護活動に関する協定書」の変更について

平成24年12月に開港した岩国空港は、「岩国空港緊急計画」を策定しており、この緊急計画の遂行にあたる関係機関の活動内容を定めるため、協定が締結されている。本会は平成24年8月24日に国土交通省大阪航空局岩国空港事務所（以下、「岩国空港事務所」）と協定を締結している（岩国市医師会、玖珂医師会、大竹市医師会も同様に締結）。現行の緊急計画では緊急事態を「空港内及び空港周辺で民間航空機の事故が発生した場合、又はその恐れがある場合」としているが、緊急事態を「空港及びその周辺で起こることが予想される航空機災害や自然災害及び航空犯罪など」とし、空港内及び空港周辺で発生する航空機事故以外の緊急事態にも対応した内容とするため、既存のものを廃止し、新たな「岩国空港緊急計画」が策定される。これに伴い、本会との協定書を一部変更し平成30年度内に協定を締結することが決定した。

5 平成31年度「安全衛生に係る功労者に対する厚生労働大臣及び山口労働局長表彰」に係る推薦について

厚生労働省山口労働局長から標記表彰の推薦依頼があり、郡市医師会から推薦の

あった厚生労働大臣功績賞 1 名について推薦することが決定した。

6 平成 31 年度山口県医師会表彰について

本会表彰規程により、生涯教育委員会及び警察医会において選考した被表彰者について協議を行い、第 4 号(医学医術に対する研究により特に医学界に貢献した者)表彰 1 名、第 5 号表彰(医事・衛生について、地域社会に対する功績が特に顕著な者) 3 名を決定した。

7 核戦争防止国際医師会議 (IPPNW) 山口県支部の設立について

IPPNW 日本支部は昭和 57 年に設立され、本部を広島県医師会内に置き広島県医師会会長が代表者となっていたが、平成 29 年に日本医師会の横倉会長が日本支部代表支部長に就任されたことから、再度組織体制を整備することとなった。1 月 13 日に開催された広島県医師会との懇談会において、山口県支部の体制整備について要望があり、山口県支部規約の制定及び役員体制を決定した。

8 「第 30 回日本医学会総会 2019 中部」における愛知県医師会との共同セッション並びに懇親会の開催について

日本医師会より、標記共同セッションへの参加登録勧奨について依頼があり、協力することが決定した。

9 療養病床転換意向等調査に係る協力について

平成 30 年度に「介護医療院」の報酬体系や具体的な施設基準が示されたことから、県が策定する第 7 期介護保険事業計画(平成 30 年度～平成 32 年度)に関して、厚生労働省から山口県健康福祉部長を通じ、改めて「療養病床転換意向等調査」の依頼があり、協議の結果、本会から該当医療機関へ協力依頼を行うこととした。

10 「おくすり手帳」の価格改定について(情報提供)

山口県薬剤師会から、平成 31 年度より「おくすり手帳」の価格を 1 冊あたり 10 円から 12 円へ値上げとなる連絡があり、郡市医師会へ周知することとした。

11 介護保険法による事業者指定申請等に係る手数料の徴収について(情報提供)

県長寿社会課から、標記手数料条例改正(平成 31 年 3 月)に伴い、周知期間の 4 か月を経た本年 8 月より徴収開始となる連絡があり、郡市医師会へ周知することとした。

12 平成 30 年度職員の退職及び平成 31 年度職員の採用及び人事異動について

平成 30 年度末で事務局長が退職、平成 31 年 4 月 1 日付けで 2 名の採用、4 名の異動が承認された。

人事事項

1 生涯教育委員会の委員について

1 名の辞任により、平成 31 年 4 月 1 日より、柳井医療センターの宮地隆史 先生

を委員とすることが決定した。

2 男女共同参画部会の理事について

昨年3月末で山口大学推薦の理事が辞任し欠員となっていた。この度、標記部会の理事会及び総会で候補者としての承認を受けた近藤智子先生を部会理事とすることが決定した。

3 広報委員会の委員について

堀委員より平成30年度末で辞任したい旨の申出があり承認された。残任期間は当面、欠員とする。

報告事項

1 保険委員会及び保険指導医打合会（3月7日）

平成30年度個別指導の結果報告及び問題点等について協議が行われた。（萬）

2 小児救急医療対策協議会（3月7日）

県小児科医会、県医療政策課及びティーペック（株）より、平成29・30年度小児救急電話相談事業の実績報告が行われ、その後、平成31年度の小児医療対策事業、小児救急医療体制の今後の取組等について意見交換を行った。（前川）

3 第2回山口産業保健総合支援センター（3月7日）

平成30年度の事業実施状況、平成31年度産業活動総合支援事業における事業計画について協議後、意見交換を行った。（中村）

4 山口県医療勤務環境改善支援センター運営協議会（3月7日）

平成30年度の事業実績及び平成31年度事業計画（案）、働き方改革及び医師の働き方改革について協議を行った。（沖中）

5 地域医療構想調整会議「長門」（3月7日）「下関」（3月20日）

地域医療調整会議の活性化に向けた対応、医療機関2025プランへの各病院の具体的対応方針について協議を行った。（前川）

6 医事案件訴訟事案打合せ（3月8日）

係争中の事案について、担当弁護士を含め打合せを行った。（林）

7 第15回指導医のための教育ワークショップ（3月9・10日）

林弘人チーフタスクフォース他3名のタスクフォースの指導により、一泊二日の合宿形式で開催した。参加者は25名。（加藤）

8 日医臨床検査精度管理調査報告会（3月8日）

第52回臨床検査精度管理調査の各項目に関する報告並びに総合討論が行われた。（沖中）

- 9 臨床研修病院合同説明会（レジナビフェアスプリング 2019 東京）（3月10日）
11 大学から15名の学生の訪問があった。（中村）
- 10 山口県生活習慣病検診等管理指導協議会「肺がん部会」（3月12日）
山口県のがんの状況を報告後、平成29年度市町肺がん検診の実施状況、診断症例調査票について協議を行った。（中村）
- 11 社会保険診療報酬支払基金山口支部幹事会（3月13日）
平成31事業年度一般会計事業計画（案）、保険者との契約改定、山口県内の病院との打合せ等について報告が行われた。（河村会長）
- 12 郡市医師会医事紛争・診療情報担当理事協議会（3月14日）
平成30年度の受付事案について、医事案件調査専門委員会での争点・結論、その後の経過等の報告を行った。また、医師会の窓口相談事例及び各医療機関の窓口等で発生している患者とのトラブル事例の研究報告を行った。（林）
- 13 郡市医師会生涯教育担当理事協議会（3月14日）
日本医師会生涯教育制度の平成29年度集計結果及び平成30年度の単位申請方法、平成31年度事業計画について協議を行った。（加藤）
- 14 山口県予防保健協会理事会（3月14日）
2019年度事業計画及び収支予算、旧別館跡地の活用、保健事業次期電算システムの導入等について審議した。（中村）
- 15 第2回山口県保険者協議会（3月14日）
平成31年度山口県集合契約健診等単価等の報告及び平成31年度山口県保険者協議会事業計画等についての協議が行われた。（清水）
- 16 山口県生活習慣病検診等管理指導協議会「子宮がん部会」（3月14日）
山口県のがんの状況を報告後、平成29年度市町子宮がん検診の実施状況、診断症例調査票について協議を行った。また、「誘ってがん検診キャンペーン推進事業」等がん対策の新規事業の報告が行われた。（藤野）
- 17 山口県母子保健対策協議会（3月14日）
山口県の母子保健の動向及び母子保健事業実施状況、専門委員会（不妊相談、新生児聴覚検査、HTLV-1）の報告が行われた。（河村）
- 18 認知症サポート医フォローアップ研修会（3月16日）
「オレンジドクターの創設について」（本会 清水 暢 常任理事）の講演及び「認知症施策と認知症医療・ケア」（認知症疾患医療センターセンター長、（独）国立病院機構柳井医療センター副院長 宮地隆史 先生）の特別講演が行われた。受講者33名。（清水）

19 オレンジドクター制度に関する検討会（3月16日）

地域における認知症の早期発見・早期対応の促進を目的とした「オレンジドクター制度」の設置にあたり、認知症サポート医研修会講師並びにプレミアムオレンジドクターの認定審査等について協議を行った。（清水）

20 郡市医師会勤務医理事と勤務医部会企画委員会との懇談会（3月16日）

予め回答いただいた勤務医部会に関するアンケートの結果報告、医師確保対策、働き方改革等について協議を行った。（加藤、中村）

21 日医治験推進地域連絡会議（3月16日）

講演「今後の臨床研究・治験活性化に関する取組みについて」（国立研究開発法人日本医療研究開発機構臨床研究・治験基盤事業部臨床試験課 川口貴史 先生）等、6つの講演が行われた。（林）

22 保育サポーター研修会（3月17日）

保育サポーターバンクの説明後、サポート経験者の事例紹介及び三田尻病院の豊田秀二 院長による講演「救急に繋ぐまでにアナタができる事を体験しよう！」並びに昼食懇談会を行った。受講者30名（長谷川）

23 男女共同参画部会総会（3月17日）

平成30年度事業報告、役員を選出、平成31年度事業計画が承認された。その後、神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーションスクール設置準備担当の吉田穂波教授による特別講演「受援力ノススメ～自分の強みを活かす生き方」が行われた。（前川）

24 勤務医部会市民公開講座「周南市」（3月17日）

徳山医師会の担当で「考えてみよう、人生の最後であなたが望む治療や生き方は？」をテーマに市民公開講座を開催した。徳山中央病院救急科の山下 進 主任部長による「人生の幕の閉じ方～救急医療の現場から～」、徳山医師会病院循環器内科の福江宣子 部長による「人生会議のすすめ方～人生の最終段階における医療の決定プロセスについて～」の講演を行った。参加者約200名（加藤）

25 日医学校保健講習会（3月17日）

文部科学省健康教育・食育課長による中央情勢報告後、学校保健の今日的トピックスとして講演2題「乳幼児健診から学校健診へつなげるためのビッグデータの活用」、「子供たちを取り巻くSNSやネット環境について」、「思春期のメンタルの諸問題とその支援」をテーマにシンポジウムが行われた（藤本）

26 第2回へき地医療専門調査会（3月18日）

平成30年度の取組みとして、①へき地医療専門調査会ブロック会議、②山口県へき地遠隔医療推進協議会、③山口県へき地医療対策共同研究会の取組み等について報告が行われた。その後、グループワークにおいて意見交換を行った。（前川）

27 山口県医療保険関係団体連絡協議会（3月18日）

健康保険組合山口連合会の引受で開催。各団体（機関）の現状、懸案事項等の報告及び「在留外国人及び訪日外国人の医療対応について」協議を行った。（萬）

28 日本医師会監事会（3月19日）

会計の収支報告と医師年金の報告を受けた。（河村会長）

29 日本医師会第13回理事会（3月19日）

事務局長の交代、第1回都道府県医師会長協議会、日本医師会会費減免申請等について協議を行った。（河村会長）

30 平成31年度要望に対する取り組み・反映の状況について（情報提供）

自由民主党山口県支部連合会に提出した、平成31年度要望事項に対する取り組み・反映が報告された。

31 厚狭郡医師会と小野田医師会との合併協議について（情報提供）

厚狭郡医師会より、小野田医師会との合併に係る協議の経過報告が行われた。

医師国保理事会 一第20回一

1 第2回山口県保険者協議会について（3月14日）

医師会報告事項15に同じ。

山福株式会社取締役会

出席者 取締役7名 監査役3名

1 当会社株式譲渡承認請求について

厚狭郡医師会が解散し小野田医師会と合併することから株式譲渡承認請求が提出され、承認された。

2 期末決算の日程等について

原案のとおり承認され、配当金を1株につき2,000円とすることが決定された。

3 常務取締役の辞任について

市原常務取締役より辞任届が提出され、承認された。